



みなさんは現在、全ての園や学校で行われている特別支援教育をご存じでしょうか？大人から見ると「どうして？」とってしまう子どもの行動。でも、見方を変えると、その子自身が何か困っているからかもしれません。特別支援教育とは、そんな子どもたち一人ひとりを大切にしていける教育であり、それぞれのお子さんの特徴を踏まえ、その子にあった接し方をしたり、環境を整えたりすることで、お子さんの困っていることを減らすための取組です。特別支援教育だより「スマイル」は、ご家庭や地域の皆さんに特別支援教育について知っていただくため、新上五島地区特別支援教育コーディネーター連絡協議会にて作成されているものです。

特別支援教育は「特別なこと」ではありません。

一人ひとりのニーズにあったサポートを提案します。



姿勢が崩れやすい子

足の裏全体をしっかり床につけることが、1番のポイントです。机や椅子の高さの調節も欠かせません。調節が難しい場合は、踏み台や中敷きを置いて、しっかり足の裏がつくように座らせましょう。



※机の支柱の横棒に足を乗せていると姿勢は崩れる。

また、外でたくさん体を使って遊んだり、体幹トレーニングに取り組み、体を鍛えたりすることも大切です。

< 例：座ったときの姿勢 >

肘を90°に曲げたとき、
テーブルと同じ高さになる

テーブルとの距離は
にぎりこぶし1つ分

足の裏全体が
足台についている

机と目の距離は30cm

背筋を伸ばし
深く座る

椅子の背もたれは
床と垂直に

膝裏が座面
先端に当たる



集中が苦手な子

～ 原因を知ることがカギ ～

「姿勢」の課題
猫背、骨盤のゆがみ

「健康・気持ち」の課題
体調不良、不安、悩み、
トラブルからのイライラ
自己肯定感の低下

「環境」の課題
机・イス、気温、騒音、明るさ

「認知」の課題
見え方、読み取り方





「必要性の理解」の課題
必要だと感じていない。
なぜ、するのか分からない。



※ ひとえに、「集中できない」と言ってもその原因は様々です。まず、その原因となる課題を解決することが大切です。

発音が不明瞭（苦手）な子

*生活の中で口の発達を促していくことが大切です
遊びながら、食べながら、発音を育てるための日常生活でできる6つの口の力の育て方を紹介します。

噛む力	せんべい、野菜スティック、食パンの耳、ちくわ、こんにゃく、干し芋など	
唇の動き	ポッキー等の棒状のお菓子の先を口にくわえて、手で持たないで食べる	
吸う力	麺をちゅるちゅるすすって食べる 遊びの中でストローを使って、小さい紙片を吸って移動させる	
吹く力	たんぽぽをフーッと吹く、シャボン玉、風船をふくらます、ラッパ、笛	
舌の動き	ソフトクリームを下から上に舐める、口の周りについたジャムを舐める あっかんべー、にらめっこであっぷっぷー	
のどの動き	ガラガラと音を立てて、うがいをする	

「日常生活に支障はないけれど…」 「発音できない語音があって…」 など、言葉の発達が気になるお子さんがいましたら、「ことばの相談」を受けることをお勧めします。発音の完成年齢を表にしていますので、参考にしてください。

年齢	言えるようになる音
2歳代	パ行、バ行、マ行、ヤユヨワン、母音（アイウエオ）
3歳代	タ行、ダ行、ナ行、ガ行、チャ行
4歳代	カ行、ハ行
5歳代	サ行、ザ行、ラ行



*早期に「ことばの訓練」を始めることで、改善につながることがあります。

このように、特別支援教育とは、決して難しく考えるものではありません。ご家庭や地域の中でも、気になるお子様のために出来ることや考えられることはたくさんあります。もし、お近くに気になるお子様がいらっしゃいましたら、参考にしてください。

これからの未来を担う子どもたちの中には、悩みや不安を抱えている子がたくさんいます。そんな子どもたちの困り感を少しでも取り除く手助けを行っている相談機関がたくさんあることをご存じでしょうか？

新上五島町にいる全ての子どもたちが、いつも笑顔で、元気でいられるよう、何かお気づきの点がありましたら、お気軽にご相談ください。

- 新上五島町教育委員会
Tel 54-1982
- 役場福祉課
Tel 53-1133
- 上五島保健所
Tel 42-1121

- 佐世保特別支援学校高等部上五島分教室
Tel 54-1121
- こども発達センターあおいとり
Tel 52-2293

